

取扱説明書

当製品は、使用上の注意を良くお読みいただいた上でお使いください。

バルブはボトル内のミネラルウォーター等と直に触れますので、必ず「煮沸消毒」をしてからお使いください。また、繰り返し使うものですから、随時「煮沸消毒」をしてください。

バルブは、以下の条件下でお使いいただければ「漏れ」は生じません。

a. バルブを差し込まずにキャップだけの状態でボトルを置いていただき漏れないことが確認できれば、バルブを差し込んでお使いいただいても漏れません。

クレードル（台座）は、お手元のボトルをキャップを下にして斜めに置いていただきますから、常時キャップ方向に圧が掛かる状態で使用します。そのため、ボトルとキャップの勘合に僅かでも隙間があれば、30分～1時間程で漏れが生じます。この場合は、バルブを装着しても漏れが生じます。ボトルないしはキャップに傷がある場合、あるいはボトルの持ち運び中にキャップ部分を持つと、ボトルとキャップの間に隙間が生じることがあります。

b. ボトル交換時の注意事項

バルブを取り付ける際には、バルブ内に残液がないことを確認してからボトルに差し込んでください。差し込む際に、ねじる様にしますとバルブの合わせ目から水が染み出してくることがあります。その場合、合わせ目のところに水滴が残るようでしたら、ティッシュなどで吸い取ってください。そのままにしてお使いいただくと、その水滴がみず道の役割を果たし水漏れを生じさせます。また、バルブ装着後は、ボトルを立てたままの状態でコックを引いてボトル内のエア抜きをしてください。

C. 給水時の注意事項

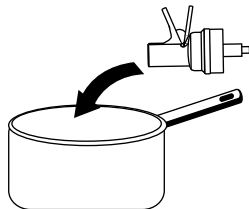
給水後、バルブの先端にティッシュなどをあて、残液を吸い取るようにしてください。毛細管現象と重力の作用を遮断することで漏れを生じさせないようにしてお使いいただけます。

クレードルバルブ取り付け手順

1 バルブの煮沸消毒

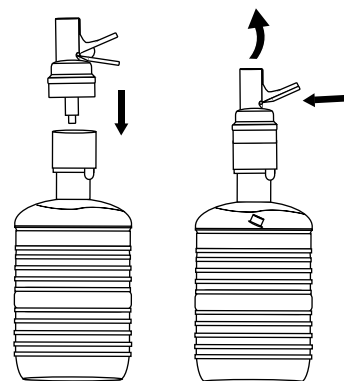
バルブの煮沸消毒 沸騰したお鍋にバルブを入れて1分程度煮立ててください。その後火を止めて、お湯が少し冷めて手で取り出せる程度になりましたら、消毒完了です。

やけどに注意してください。



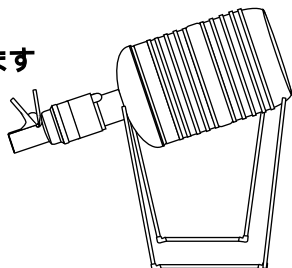
2 バルブの取り付け

キャップのシールを剥がし、ボトルを立てたままバルブをまっすぐ差し込んでください。必要に応じて、バルブをねじる様にして押し込んでください。バルブが十分に差し込まれると、キャップの内蓋が取れます。エア抜きをしてください。



3 クレードルにセットします

クレードル（台座）の上にバルブを取り付けたボトルをレバーが上に来るようにのせます。 **手を挟まないよう注意してください。**



ボトル交換時・給水時の注意事項

水滴が残るようでしたら、ティッシュなどで吸い取ってください。

